Acrobat LCD™

アクロバット LCD

目次

- **各部の名称**……３−４
- **簡単スタート**……５
- **使い方**……６−１６
  - 倍率の調整……６
  - モード調節……７−８
  - リモコンとカメラの使い方……９−１６
- **読書と筆記の仕方**……１７−１８
- **カメラ位置の調整**……１９
- **主な使い方**……２０
- **保障について**……２１
- **故障かなと思ったら**……２２

各部の名称

アクロバットLCD は各部の名称と機能から成り立っています。

1. 19型 LCDモニター: 高品質画像
2. カメラ: 340度回転。画像を捉え拡大します
3. 持ち運び用ハンドル: アクロバットLCDを持ち上げる時使用します
4. ズームレンズ: 高度拡大に使用します
5. アーム: カメラを支える回転アーム
6. ロック: アームの横スライドをロックします

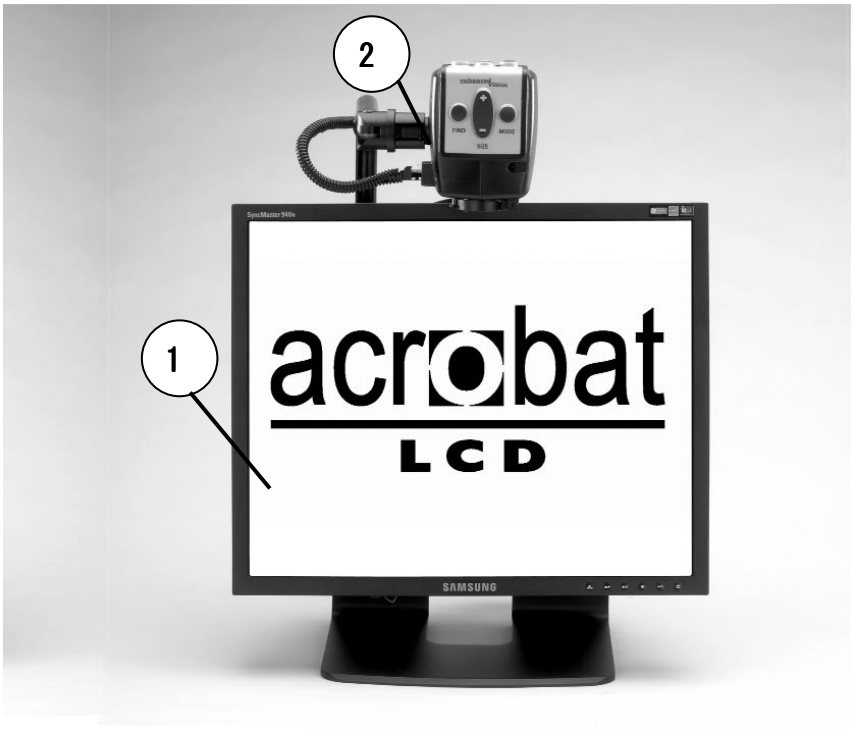
含まれている付属品:

7. リモコン: (電池付き): 離れてアクロバットが操作できます
8. レンズ用のクロス: LCD ディスプレイをきれいに保ちます

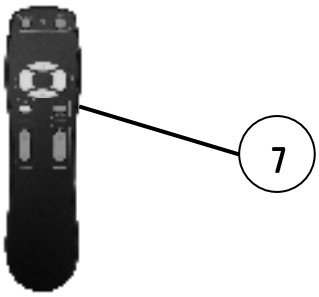
含まれていない付属品:

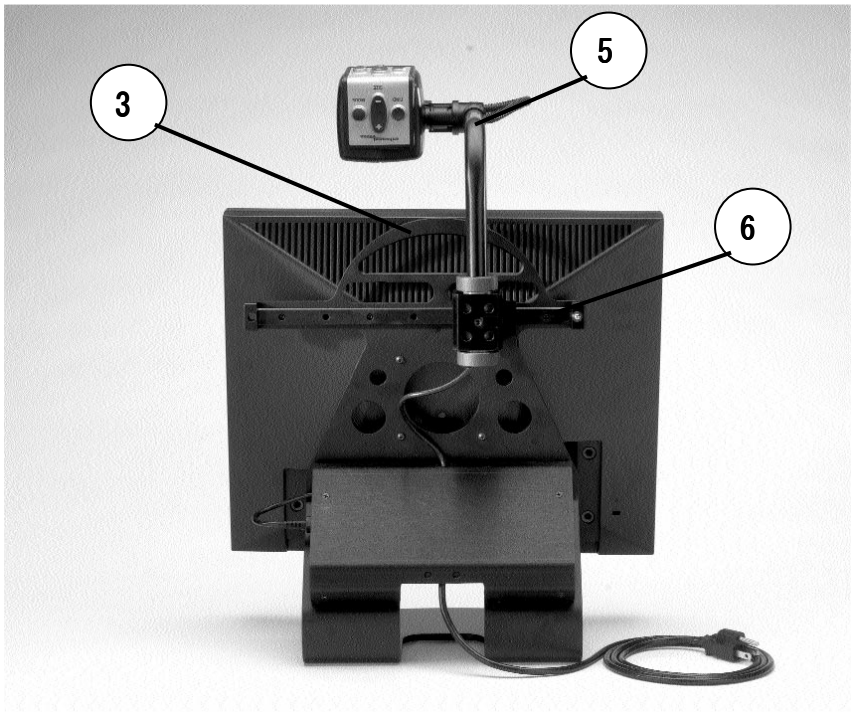
9. キャリーケース (オプショナル): アクロバットLCDの保護と輸送を簡単にします

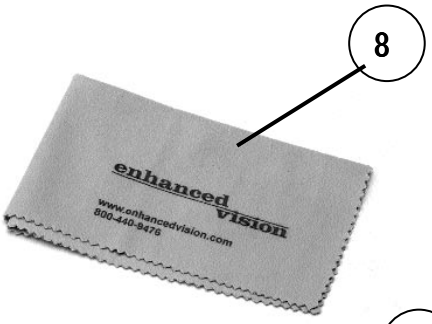
各部の名称


2
1
acrobat
LCD
SAMSUNG

enhanced vision
FIND
MODE
SIZE
4


7


5
3
6


8
enhanced vision
www.enhancedvision.com
800-440-9475

9

簡単スタート

1. アクロバット LCD の開梱と輸送

開梱と輸送中は，備え付けの手提げでアクロバット LCD を持ち上げます。モニターだけを持ち上げようとしないでください。　（図１参照）

図 1

2. アクロバット LCD の設定

アクロバット LCD をテーブル又は机のような平坦で水平な表面の上に置きます。

3. 電源につなぐ

付属の電源コードを 空いた壁コンセントに差し込む。（図２参照）

図 2

4. 電源を入れる

アクロバット LCD 後面右側のスイッチを「○」から「Ｉ」に入れる。（図３参照）　数秒のうちに LCD スクリーンとアクロバットカメラは自動的に作動します。カメラが向いている物の画像が LCD スクリーンに映し出されます。

同じスイッチを「０」のポジションに戻して電源をオフにします。

注意：もし、図３の電源を入れても画面が点かない場合は、モニター側の電源が入っていないので、モニター右下の丸いマークを手の腹で押して下さい。それでも点かない場合は、日本テレソフトまでご連絡下さい。

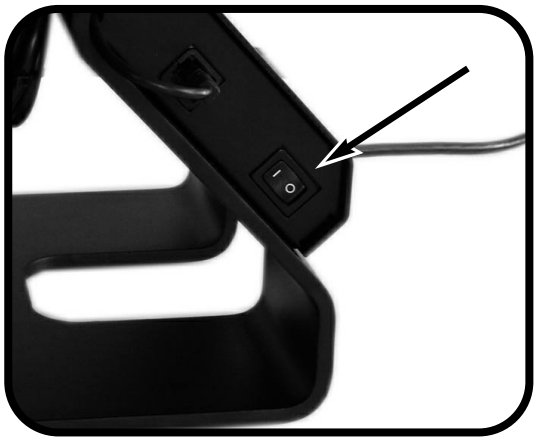


図 3

倍率の調節

アクロバットは大きな倍率への拡大が可能です。以下の手順に従ってリモコン又はカメラから操作してください。(図 1& 2 参照).

1. リモコンまたはカメラの「 + 」か「 - 」ボタンをちょうどいい倍率になるよう押し続けて調節します。

2. 倍率を拡大していく時「KAKUDAI」という表示が画面左上隅に現れます。最大の倍率になったとき「SAI-KAKUDAI」という表示が現れます。倍率を下げていくと「SYUKUSHO」の表示が画面左上隅に現れ、最小の倍率になったときに「SAI- SYUKUSHO」と表示されます。

注: 拡大の限界はカメラと対象との距離によります。

図 1

図 2

使い方

モードを変える

アクロバットは特定の視覚事情を持った人々に、文字と背景両方の色の組み合わせがいくつか選べることで、最適な視覚を用意できるよう設計されています。加えて、それぞれの視覚のためにモードが選択できます。リモコンまたはカメラを使って以下の手順で操作できます。

モードを調節

1. リモコンまたはカメラのモードボタンを押してモードを選択します。(図 1 & 2 参照).
2. ボタンを押すごとに 7 つのモードを循環します。(次頁参照).

図 1

図 2

モード

フルカラー画像
拡大された画像のフルカラー表示。

白黒画像
拡大された画像の白黒表示。

白黒強化画像
白地に黒文字モード。
コントラストが強くくっきりとした文字で
読みやすい。

くっきり、
はっきり
文字画像！

白黒強化画像

白黒反転画像
黒地に白文字モード。
コントラストが強くくっきりとした文字で
読みやすい。

くっきり、
はっきり
文字画像！

白黒反転画像

カラー選択　1
青地に黄文字モード。

カラー選択 2
黒地に緑文字モード。

カラー選択３

黒地に黄文字モード

リモコンを使って白バランスの調節

白色は室内照明の影響を受けやすいのでアクロバットの白バランス調節が最適な明確さをお届けします。

白バランス調節は以下の指示に従ってください。

１．リモコンの白バランス「ＷＢ」ボタン（図１参照）を押すと２秒ほどで起動します。

２．１の動作を繰り返し以下の４つの設定をします。

a.「IC」「JIDO」 室内照明にあわせて自動調節します。

b.「IC」「DAN－SHOKU」 赤系色に調節します。

c.「IC」「TSU-SHOKU」 バランスのとれた色合いに調節します。

d.「IC」「KAN-SHOKU」 青系色に調節します。

図１

カメラを使って白バランス調節

カメラでの白バランスの調節は以下のように行ってください。

1. モードボタンを 3 秒間押し続けて メニューを開きます。
2. 「+ 」のボタンを押してスクロールし “2. White Balance” を選択します。
3. モードボタンを押して白バランス機能を開始します。
4. 「 +/- 」のボタンを押して 4 つの設定を行います。
5. モードボタンを押してこの機能を終了します。

ENTERING SETUP

2.White Balance

1. WHT BAL AUTO
2. WHT BAL WARM
3. WHT BAL NORMAL
4. WHT BAL COOL

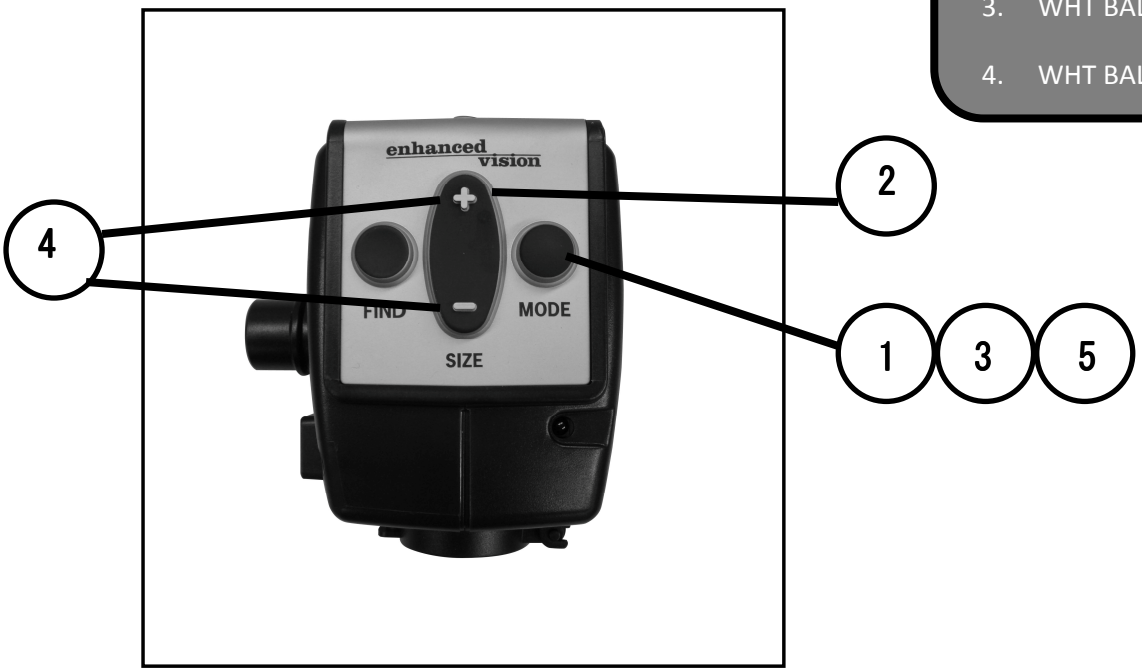


図 1

リモコンでラインマーカーを使用

ラインマーカーは 2 本の横線で、画像を枠に入れるのに使います。この線は長い文章を読むときのしるしとして、例えばページの一部分から別の部分に移るとき自分の読んでいる箇所を表示したり、または単に筆記を助けるなどに使用します。

リモコンでラインマーカーは以下のように着脱します。

1. “LM ON/OFF” ボタンを最低一秒は押し続けてラインマーカーを起動又は終了します。
2. 上のラインマーカーを動かすときは“ULM+/-” ボタンを押します。
3. 下のラインマーカーを動かすときは “LLM+/-” ボタンを押します。
4. “LM ON/OFF” ボタンを最低一秒押してラインマーカーを削除します。

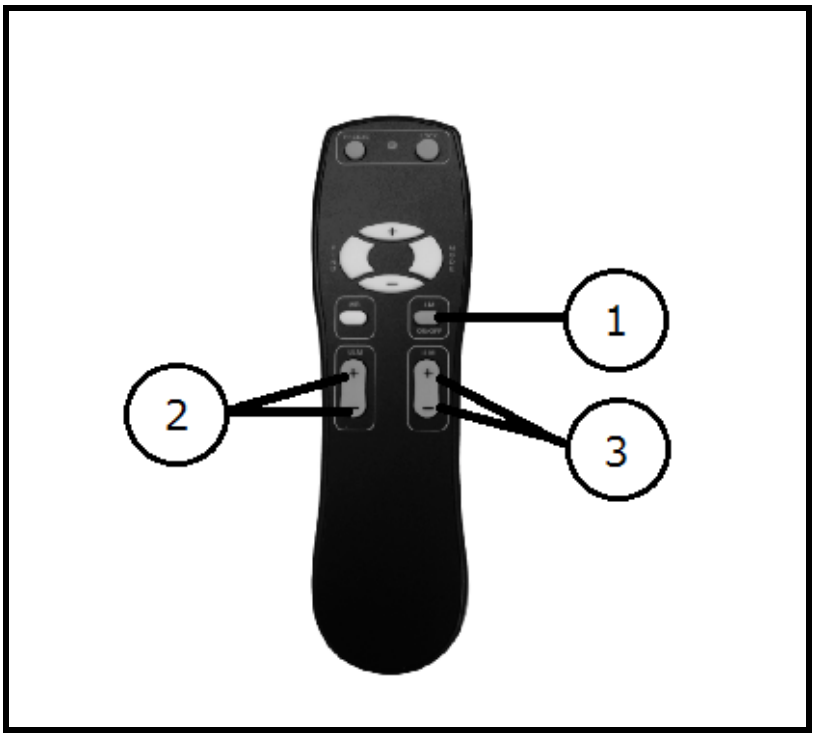


図 1

カメラでラインマーカーを使用

以下の指示に従ってカメラからラインマーカーの選択をしてください。

1. モードボタンを最低3秒は押し続けて“Entering Setup”メニューを開始します。

2. メニューは自動的に“1. Line Markers On”または“LM On”を表示します。

3. 「モード」ボタンを押します。

4. メニューは“1. Line Makers Off”または “LM Off”を表示します。

5. 「-」ボタンを押してラインマーカーを起動します。画面は“1. Line Markers On”を表示します。

6. 「モード」ボタンを押すとメニューは“2. Upper Marker ADJ”または“Top Marker”を表示します。

7. 「+/-」ボタンを押して上のラインマーカーを上げたり下げたりします。

8. モードボタンを押して上のラインマーカーを設定します。

9. メニューは“3. Lower Marker ADJ”または“Bottom Marker”を表示します。

10. 「+/-」ボタンを押して下のラインマーカーを上げたり下げたりさせます。

11. モードボタンを押して下のラインマーカーを設定します。

12. 1から3を繰り返してラインマーカーを削除します。

13. 「+」ボタンを押して“1. Line Markers Off”メニューまたは“LM Off”に戻ります。

14. モードボタンを押してメニューを終了します。

1.Line Markers

2.Upper Markers ADJ

or

3.Lower Marker ADJ

ENTERING SETUP

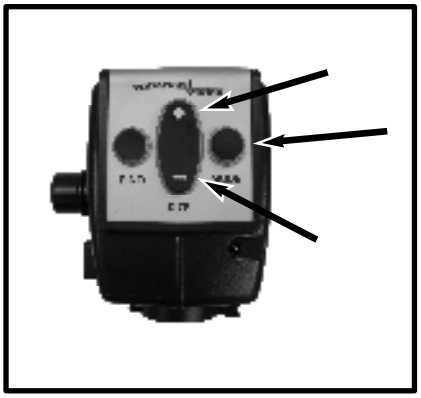


図1

対象位置表示装置（FIND）の使用法

アクロバット対象位置表示機能はあなたがページ上で探しているものの位置やもっと詳しく見たい対象の特定部分をすばやく見つける手助けをします。

以下の手順に従ってリモコンやカメラで探している対象の位置を見つけることができます。

1.　リモコンの「FIND」 ボタン(図１参照）またはカメラ（図２参照)の「FIND」ボタンを押し続けます。アクロバットが自動的に最大画像にズームアウトし「ターゲット」(図３参照)が画面の中心に現れます。

2. あなたが作業している物、または読んでいるものを「ターゲット」の場所まで移動させます。

3.　「FIND」ボタンを離すと「ターゲット」周辺が拡大されます。

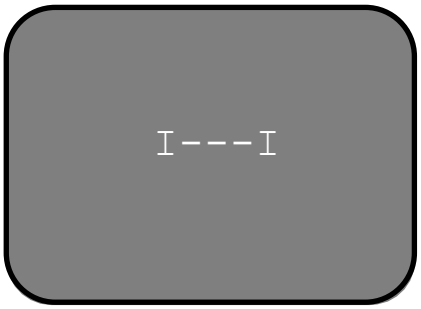


図３

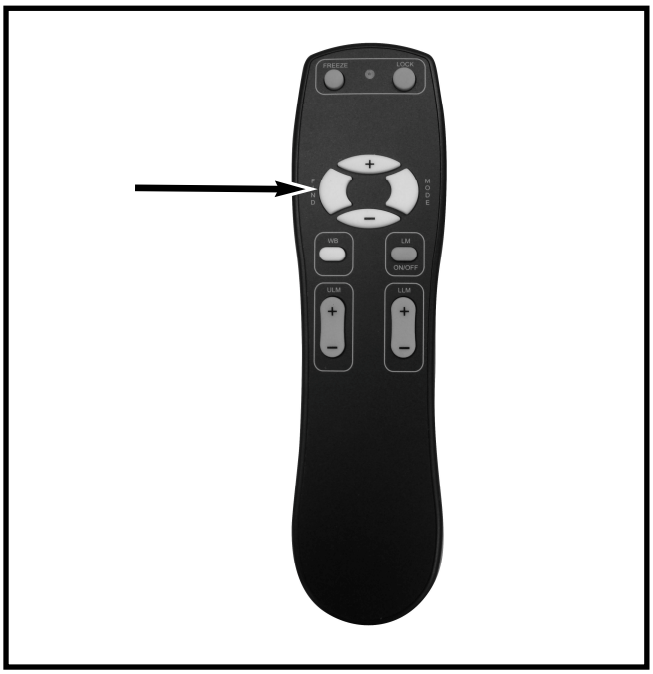


図１

図２

リモコンで高度焦点固定を操作

アクロバットを起動すると自動的に自動焦点になるが、これは本の中の一ページや、瓶にはられた処方箋を読んだり、芸術や工芸品を作ったりする日常生活のなかでもっとも便利な設定です。

「フォーカスロック」を使うと 筆記の際など、特定の対象に焦点を同じ距離で維持することができます。アクロバットの高度焦点固定機能は拡大サイズを変えたあとも自動的に同じ対象に焦点を再び合わせてくれます。アクロバットはカメラの枠に自分の手が入っても書いているものの方に焦点を合わせ続けています。

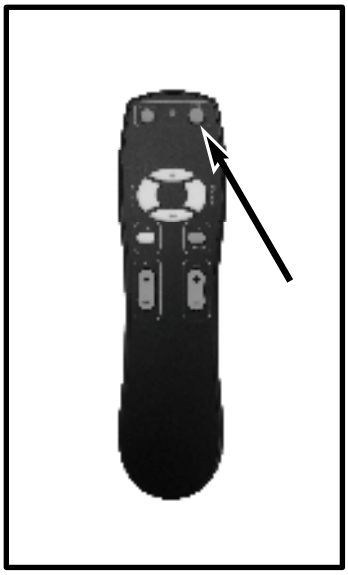


図 1

以下の手順で高度焦点固定機能をリモコン操作できます。

1. ノート、文房具、小切手帳または他の筆記用具をテーブルの上に置きます。

2. リモコンの “LOCK” ボタンを押します。（図 1 参照）

3. 画面の左上隅に ″JIDO SHOTEN OFF″ の文字が現れます。（図 2 参照）

4. リモコンの “LOCK”を押すとオートフォーカスにもどります。（図 1 参照）

5. 画面の左上隅には文字が現われません。（図 3 参照）

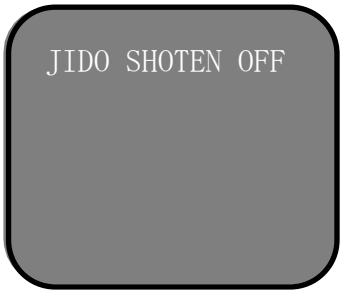


図 2

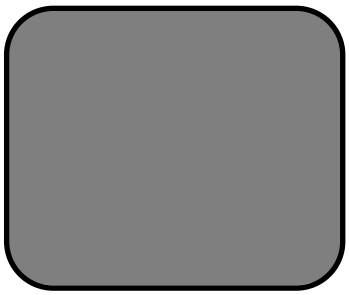


図 3

カメラで高度焦点固定を作動

以下の手順で高度焦点固定機能をカメラで操作できます。

1. ノート、文房具、小切手帳または他の筆記用具をテーブルの上に置きます。

2. カメラの「Find」と「モード」の両ボタンを同時に最低一秒押して「フォーカスロック」を起動させます。（図１参照）

3. 画面の左上隅に〝JIDO SHOTEN OFF〟の文字が現れます。（図２参照）

4. カメラの「Find」と「モード」の両ボタンを同時に最低一秒押して「オートフォーカス」に戻します。（図１参照）

5. 画面の左上隅には文字が現われません。（図３参照）

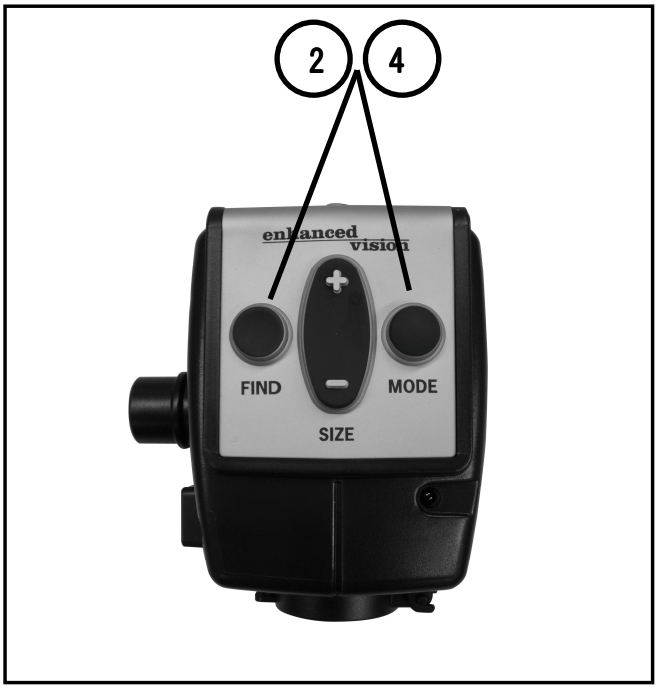


図１

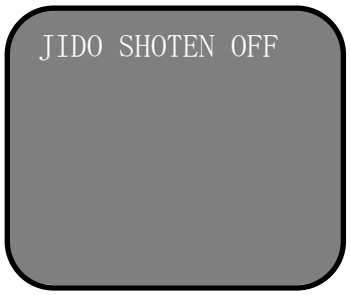


図２

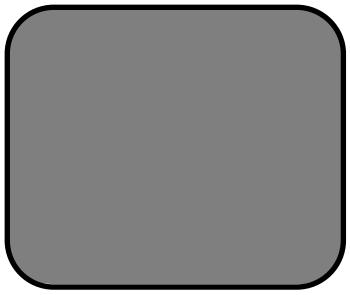


図３

フリーズ機能を使う

画像を少し長い時間見ていたいときには「フリーズ」機能を使って、アクロバットの拡大したイメージをスナップショットにとることができます。この機能は教室でノートを取っているときなどに便利です。

以下の手順でリモコンを「フリーズ」モードを操作します。（リモコンのみ）

1. 「フリーズ」キーを最低 2 秒押し続けます。(図 1 参照)

2. 画像又はビデオは動作を停止し画面左上隅に「DOHGA TEISHI」表示が出ます。(図 2 参照)

3. どれかのキーを押すか視角度を変えて、「フリーズ」モードを解除します。

図 1

図 2

読書と筆記の仕方

読書のコツ

アクロバット、またその X-Y テーブルを使った簡単な読書は以下の手順で行えます。

1. X-Y テーブルのロックを解除し本、新聞等をページの先頭をテーブルの後ろの縁に寄せて、テーブルの上に置きます。

2. アクロバットを一番低い倍率に設置し、読み始めの位置をモニター画面のほぼ中央に来るように X-Y テーブルを動かします。

3. 一番見やすいサイズにまで拡大します。

4. ゆっくりと X-Y テーブルを左に滑らせると，単語が画面を読みやすいように流れていきます。行の終わりまで行ったらゆっくりとテーブルを行の初めまで滑らせて戻してください。テーブルをわずかに離して次の行の先頭に配置します。

筆記のコツ

アクロバットと X-Y テーブルを使っての筆記は以下の手順で行ってください。

1. X-Y テーブルをロックしてその上に書こうとしているものを置いてください。初心者は低倍率から始めて必要に応じて拡大していきます。

2. 見やすいように太書きのペン、はっきりとしたボールペンやフェルトマーカーなどを使います。罫の入った紙の方が自分の書いている位置が分かりやすいでしょう。

3. 続けて動かしながら書くのではなく、初めに一度何語か書いてみて、それから X-Y テーブルを動かしてまた書きます。色文字、白黒、または強化ポジ視覚モードで書くことができます。

アクロバットで読書

- 文字が読みやすくなるまで拡大します。ただあまり大きすぎるとページ全体に目を通すのが面倒になります。ビデオ拡大システムに不慣れな人は自分の読むものを拡大しすぎる傾向にあります。
- 対象位置機能を使う際は、指を読み初めの位置に置いて読んでいるものを中心に据え指を離してすばやく自分の位置を見つけられます。

アクロバットを使って筆記

- アクロバットを筆記に使うのに慣れるまでは、小さな倍率から初めそれからだんだん大きく拡大して行きます。
- 書く作業に合わせて拡大鏡を調節します。拡大倍率が小さければ小さいほど大きく書きがちで、倍率が高ければ高いほど小さく書くことになります。
- 見やすいように太書きのペン、はっきりとしたボールペンやフェルトマーカーなどを使います。
- 罫線の入った紙またはアクロバットラインマーカーを使って自分の位置を簡単に確認できます。
- 続けて動かしながら書くのではなく、一回に何語か書いてみて、それから紙を動かしてまた書きます。
- 色文字、白黒、または強化ネガ、ポジ視覚、色選択１，２，３モードで書くことができます。

カメラ位置の調節

カメラ位置の調節

アクロバットカメラはアームで左右にスライドさせたりどんな方向にも旋回することができます。(図 1, 2, 3 、4 を参照)

図 1

図 2

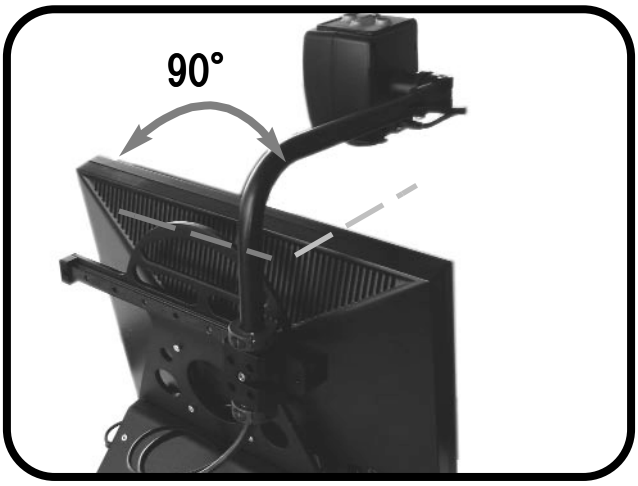


図 3

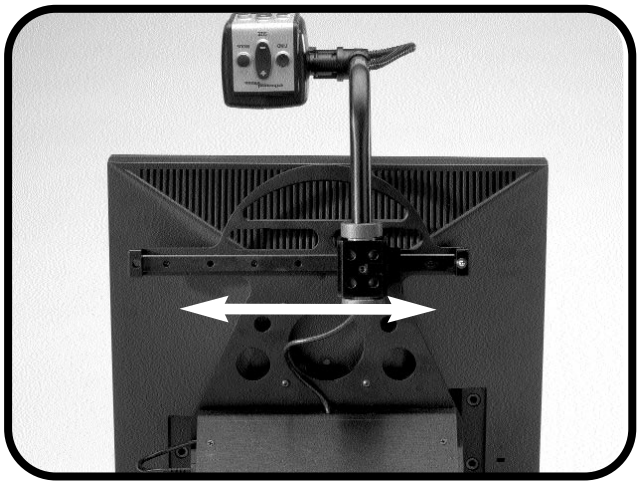


図 4

使い方のコツ

アクロバット LCD には 3 つの主要インライン視覚位置が特別設計されています。

読書（Reading）：アクロバットカメラは、本体に繋がっているフレームを左右にスライドすることで見ることができます。また、本自体を動かすことで読むことができます。（図１参照）.

図１

距離(Distance)：このモードはユーザーが遠くの物を見る時に前方に向けて見ることが可能になります。（図２参照）

遠くを見る場合には、カメラに付いているレンズを外してお使い下さい。

図２

自己視(self-viewing)：このモードはユーザーが自分自身を見るために自分にカメラを向けて見ることを可能にします。（図３参照）

この場合には、倍率が最大 30 倍までとなっています。

図３

保障について

保証規定

- Enhanced Vision 社の製品は、高い品質の画像、便利な機能、簡単な操作、信頼性のあるサービスを提供しております。

- Acrobat LCD は、出荷前に品質検査とテストを行っております。

- ㈱日本テレソフトは、正常な状態で使用したと認められたときに故障が発生した際は購入日から２年間の保証をします。

- 故障の場合、無料修理又は交換を行うか有償修理にするかは㈱日本テレソフトが判断致します。

ただし以下のことは保証外になります。

１．使用上の誤り、落下などの事故などによる故障

２．不当な修理や改造による故障および損傷

３．食べ物や飲み物などの液体をこぼしたことによる故障

４．通常の使用により生じる Acrobat LCD 本体表面など外側にできる傷

５．㈱日本テレソフトが提供した以外の機器をつかっての操作による故障

６．火災、地震、水害、その他の天災地変。公害や異常電圧による故障及び損傷

注意：保証サービスを受けるために、購入日、保証書を必ず保管ください。

修理をご希望の方は、下記にご連絡ください。

株式会社　日本テレソフト

福祉機器事業部

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-8-1 半蔵門ＭＫビル１階

ＴＥＬ:03-3264-0800

ＦＡＸ:03-3264-0880

E-mail:ts-info@telesoft.co.jp

URL: http//www.nippontelesoft.com

購入時の梱包箱は、修理が必要になったときのために保管ください。